

平成24年度離島対策事業協力評価報告書

＜平成25年7月26日実施＞

第三者委員会

No.13	都道府県名:鹿児島県	市町村名:与論町				
対象地域:与論島地域(与論島)	世帯数 [※] :2,007	人口 [※] :5,327				
事業実施期間:平成24年2月1日～平成25年1月31日	海上輸送を行う者:与論町から補助を受けた第三者					
4tトラック1台の輸送平均台数:51台	年間の輸送回数:7回					
海上輸送の方法:特定家庭用機器廃棄物を積載したトラックを船舶に積み込み輸送する。						
輸送事業の方法:補助事業	引渡実績集計の方法:協会集計方式					
<p>(総輸送距離: 165.8Km, 総輸送時間: 4.3hr)</p> <p>輸送距離: 中間集積所→搬出港(3.0km) 搬出港→受入港(85 km) 受入港→指定引取場所(77.8 km) 輸送時間: 中間集積所→搬出港(0.3 hr) 搬出港→受入港(2.5 hr) 受入港→指定引取場所(1.5 hr)</p>						
	エアコン	ブラウン管式テレビ	液晶式及びプラズマ式テレビ	冷蔵庫・冷凍庫	洗濯機・衣類乾燥機	合計
事業実施期間中の輸送量(台)	42	110	12	95	98	357
交付した助成金額(円)	20,160	52,800	5,760	45,600	47,040	171,360

※ : 世帯数及び人口は、平成22年国勢調査値

参考 : 事業協力実施年度 平成21、22年、23年、24年、25年度

I. 輸送の効率化(少頻度多量輸送)の評価

年間輸送回数7回、トラック(4t)数延べ7台で、トラック1台あたり51台輸送をしており、覚書に記載された少頻度多量輸送を実施していると認められる。

II. その他 市町村の責務の遂行状況の評価

- ① 排出者の負担は助成単価と同額分軽減されていると認められる。
- ② 対象地域からの排出量と助成金交付台数とは、協力対象とならない小売業者があるため、相当量の差が認められる。
- ③ 与論町の責務(I . 及び II . ①、②の責務を除く。)は適切に遂行されていると認められる。

III. 成果及び今後の課題等

実績報告書によると、この助成金制度により町民、小売業者、補助事業者の役割分担が明確になると共に、町民の家電リサイクルに対する認識が強くなったとのことである。